



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月9日

上場会社名 株式会社オールアバウト 上場取引所 東
コード番号 2454 URL <https://corp.allabout.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江幡 哲也
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 森田 恭弘 TEL 03-6362-1300
四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 <https://corp.allabout.co.jp/ir/>
四半期決算説明会開催の有無 : 無 (決算説明動画配信予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	12,540	10.4	△71	—	△53	—	△92	—
2022年3月期第3四半期	11,361	—	436	—	446	—	241	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 △94百万円 (—%) 2022年3月期第3四半期 248百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	△6.82	—
2022年3月期第3四半期	17.86	17.72

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、2022年3月期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	9,293	4,840	48.0	326.54
2022年3月期	7,934	4,987	58.1	339.40

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 4,457百万円 2022年3月期 4,606百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において、第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末における配当予想額は未定であります。

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,800	9.1	0	△100.0	10	△98.5	△100	—	△7.34

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	13,945,500株	2022年3月期	13,945,500株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	295,979株	2022年3月期	373,699株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	13,615,409株	2022年3月期3Q	13,544,449株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び説明動画の入手方法）

当社は、決算説明動画（録画形式）及び書き起こし記事を当社コーポレートサイトにて公開を行う予定です。

（URL：<https://corp.allabout.co.jp/ir/>）

2023年3月期第3四半期の決算説明動画（録画形式）及び書き起こし記事は、2023年2月9日（木）17時に公開を予定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、長期化する新型コロナウイルス感染症に対し経済活動の持ち直しが期待されるものの、国内景気や業績に与える影響については依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境下で当社グループは、メディア&デジタルマーケティング事業とトライアルマーケティング&コマース事業を中心に、「個人を豊かに、社会を元気に」というミッションのもと、総合情報サイト「All About」における「ガイド」に代表されるような個人のチカラを活かし、ユーザーやクライアントの皆様にとって最適なソリューション及びサービスを提供すべく、グループ経営を推進してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は12,540百万円（前年同四半期比10.4%増）、営業損失は71百万円（前年同四半期は営業利益436百万円）、経常損失は53百万円（前年同四半期は経常利益446百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は92百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益241百万円）となりました。

報告セグメントの状況は以下のとおりであります。

(マーケティングソリューションセグメント)

マーケティングソリューションセグメントにおきましては、プログラマティック広告売上の基礎となるメディアセッション数の上昇があったことなどにより前年同四半期を上回る売上高となったものの、タイアップ広告や他メディア向けコンテンツ販売の粗利率低下や、コンテンツマーケティングプラットフォーム「PrimeAD」の開発費用等、戦略投資が増加したことなどにより前年同四半期比較で減益となりました。

以上の結果、マーケティングソリューションセグメントの外部顧客に対する売上高は1,717百万円（前年同四半期比11.5%増）、セグメント損失は31百万円（前年同四半期はセグメント利益87百万円）となりました。

(コンシューマサービスセグメント)

コンシューマサービスセグメントにおきましては、2021年10月から始まったd払いサンプル百貨店の加算や、dショッピング事業の堅調な推移などにより前年同四半期を上回る売上高となりました。一方、物流費の増加等による粗利率低下に加え、ドコモ経済圏向けマーケティング費用やふるさと納税関連等の当期に計画している戦略投資を行ったことにより減益となりました。

以上の結果、コンシューマサービスセグメントの外部顧客に対する売上高は10,823百万円（前年同四半期比10.2%増）、セグメント利益は339百万円（前年同四半期比51.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は7,051百万円となり、前連結会計年度末に比べ828百万円増加いたしました。これは主に未収入金が1,377百万円増加した一方、現金及び預金が613百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は2,242百万円となり、前連結会計年度末に比べ530百万円増加いたしました。これは主にソフトウェアが227百万円、ソフトウェア仮勘定が103百万円、投資有価証券が196百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は4,332百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,503百万円増加いたしました。これは主に未払金が1,399百万円、未払費用が84百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は120百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円増加いたしました。これは主に退職給付に係る負債が3百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,840百万円となり、前連結会計年度末に比べ147百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失を92百万円計上したこと及び95百万円の配当実施により、利益剰余金が187百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月11日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期連結業績予想につきましては、マーケティングソリューションセグメント及びコンシューマサービスセグメントにおける粗利率低下や戦略投資の継続実施により営業損失の発生した足元の進捗に加えて、広告需要や消費マインドなど期末にかけての不透明な事業環境を鑑み、通期業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2023年2月9日)公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,698,483	2,085,101
受取手形	16,060	—
売掛金	1,855,917	1,742,277
未収入金	1,177,902	2,555,876
商品及び製品	391,843	453,553
未成制作費	2,392	53,244
前払費用	71,859	105,896
その他	21,173	61,787
貸倒引当金	△12,508	△6,585
流動資産合計	6,223,124	7,051,150
固定資産		
有形固定資産		
建物	261,610	261,610
減価償却累計額	△16,439	△32,065
建物(純額)	245,170	229,545
工具、器具及び備品	76,652	84,142
減価償却累計額	△35,909	△45,297
工具、器具及び備品(純額)	40,743	38,844
有形固定資産合計	285,913	268,390
無形固定資産		
のれん	10,148	7,916
ソフトウェア	667,227	894,793
ソフトウェア仮勘定	78,181	181,774
その他	522	522
無形固定資産合計	756,080	1,085,007
投資その他の資産		
投資有価証券	206,952	403,625
関係会社株式	63,879	66,540
破産更生債権等	16,058	15,938
差入保証金	303,903	304,670
繰延税金資産	64,677	78,795
その他	30,101	35,300
貸倒引当金	△15,928	△15,928
投資その他の資産合計	669,644	888,942
固定資産合計	1,711,638	2,242,340
資産合計	7,934,763	9,293,490

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,090,411	1,114,540
未払金	1,156,300	2,556,091
未払費用	384,143	468,924
未払法人税等	70,941	9,510
未払消費税等	34,345	25,583
預り金	59,816	39,382
賞与引当金	5,400	6,678
その他	27,726	111,692
流動負債合計	2,829,085	4,332,405
固定負債		
退職給付に係る負債	42,718	45,999
資産除去債務	74,350	74,350
その他	1,084	510
固定負債合計	118,153	120,859
負債合計	2,947,238	4,453,264
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,285,494	1,285,494
資本剰余金	2,229,919	2,150,521
利益剰余金	1,671,108	1,483,219
自己株式	△582,262	△460,890
株主資本合計	4,604,259	4,458,345
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,945	△1,273
その他の包括利益累計額合計	1,945	△1,273
新株予約権	6,338	6,338
非支配株主持分	374,979	376,816
純資産合計	4,987,524	4,840,226
負債純資産合計	7,934,763	9,293,490

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	11,361,795	12,540,622
売上原価	4,955,366	5,263,517
売上総利益	6,406,429	7,277,105
販売費及び一般管理費	5,969,819	7,348,796
営業利益又は営業損失(△)	436,610	△71,691
営業外収益		
受取利息	1,658	1,615
受取配当金	2,300	6,500
持分法による投資利益	5,025	2,660
投資有価証券評価益	—	1,265
助成金収入	—	6,060
その他	2,540	2,071
営業外収益合計	11,523	20,174
営業外費用		
投資有価証券評価損	1,395	865
その他	724	1,361
営業外費用合計	2,119	2,226
経常利益又は経常損失(△)	446,013	△53,743
特別利益		
投資有価証券売却益	23,517	—
特別利益合計	23,517	—
特別損失		
固定資産除却損	0	81
減損損失	4,124	998
本社移転費用	22,065	—
特別損失合計	26,189	1,079
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	443,341	△54,822
法人税、住民税及び事業税	160,784	49,486
法人税等調整額	36,528	△13,259
法人税等合計	197,313	36,226
四半期純利益又は四半期純損失(△)	246,028	△91,049
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,116	1,836
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	241,911	△92,886

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	246,028	△91,049
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,138	△3,219
その他の包括利益合計	2,138	△3,219
四半期包括利益	248,167	△94,269
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	244,050	△96,106
非支配株主に係る四半期包括利益	4,116	1,836

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング ソリューション	コンシューマ サービス	計		
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	1,539,991	9,821,803	11,361,795	—	11,361,795
外部顧客への売上高	1,539,991	9,821,803	11,361,795	—	11,361,795
セグメント間の内部 売上高又は振替高	38,516	10,463	48,980	△48,980	—
計	1,578,508	9,832,267	11,410,776	△48,980	11,361,795
セグメント利益又は損 失(△)	87,277	701,364	788,642	△352,032	436,610

(注) 1. セグメント利益の調整額△352,032千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△352,032千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング ソリューション	コンシューマ サービス	計		
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	1,717,378	10,823,244	12,540,622	—	12,540,622
外部顧客への売上高	1,717,378	10,823,244	12,540,622	—	12,540,622
セグメント間の内部 売上高又は振替高	42,645	2,312	44,957	△44,957	—
計	1,760,024	10,825,556	12,585,580	△44,957	12,540,622
セグメント利益又は損 失(△)	△31,613	339,419	307,805	△379,496	△71,691

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△379,496千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△379,496千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。